

手続き費用名目の特殊詐欺被害が急増中！

3月中、様々な「**手続き費用**」を名目とした架空請求詐欺被害が**7件**発生しました。

こんな言葉に注意してください！



「**当選おめでとうございます！現金●●●万円が当選しました。**」



携帯電話のメールやショートメッセージに現金が当選したとメールが届きます。メールに添付されたURLにアクセスすると、「サイトへ登録しないと受け取れない、登録にはお金がかかる」と言われ、登録手続きの費用を請求されます。

「**遺産を受け取れます。**」

登録手数料が必要



SNSに友達申請が届きます。友達申請を許可するとSNSのダイレクトメッセージなどで、「あなたに夫の遺産を受けとってもらいたい」と持ちかけられ、更に、「振込口座の登録が必要」と言われ、その登録手続きの費用を請求されます。

犯人がお金を要求する方法は？



「電子マネー」がほとんどです！

登録手続きの費用という名目でお金を要求されますが、そのやりとりは電話ではなく、メールやメッセージです。

犯人はメールなどで、コンビニエンスストアなど電子マネーカードを取り扱うお店に行くよう指示し、そこで電子マネーを購入させ、そのカードの番号を教えるように言います。

番号を教えてしまうと、そのカードの購入代金分の利用権を騙し取られてしまうのです。



犯人の要求は一度では終わらない！？

犯人のお金の要求は一度では終わりません。

サイトの登録手数料を払ったら、次は、「振込口座の登録が必要」などと、様々な理由を付けてお金を要求され、その金額もエスカレートしていきます。

「お金を受けとれば、手続き費用分の元は取れるから大丈夫」等と思い込んでしまい、「あれ？おかしいぞ？」と気づいた時には、犯人と連絡が取れなくなり、初めて騙されていたことがわかるのです。



騙されないためには・・・

- ・身に覚えのないメールなどは無視をする！迷惑メールを受けとらないよう設定する！
- ・お金絡みの話が出たら詐欺を疑い、家族や警察に相談しましょう！



「大分県特殊詐欺等被害防止条例」が施行されました！



オール大分で特殊詐欺等の被害を防止しましょう！

県の責務

- 被害防止に関する施策の総合的・計画的な推進
- 市町村との連携及び市町村の取組への支援

県民の責務

- 被害防止に関する知識及び理解を深める
- 県・市町村の施策への協力
- 自分自身、家族、ご近所等身近な人との間での注意喚起等

事業者の責務

- 被害防止に関する知識及び理解を深める
- 県・市町村の施策への協力
- 県民の自主的な被害防止活動への協力
- 従業員に対する注意喚起等

このほか、青少年の育成に携わる者(※)についても、
 青少年が特殊詐欺等に加担しないようにするため、指導、助言などを行うよう努めることを定めています。

※青少年の育成に携わる者とは...学校教員、青少年の保護者、青少年が働く職場の上司、警察官、保護司、少年警察ボランティア、防犯ボランティア団体、自治体職員、PTAなど青少年に対して指導・助言できる立場にある者。

まずは、従業員やその家族が被害に遭わないための注意喚起をお願いします。



子どもの見守りへのご協力をお願いします！

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、一部小、中学校等が臨時休校となっています。感染防止のため外出を控えることとなっていますが、やむを得ず外出する場合もあると思います。他県では、新型コロナウイルスに便乗した声かけ事案も発生しています。休み期間中の子どもの安全確保のため、屋外での子どもの見守り活動へのご協力をお願いします。

子ども達を見守る「目を増やす」

- ・通学路や子供達が集まる場所を点検。
- ・「ながら見守り」の実施。

「声をかける」

- ・子どもへの声かけは安心感に。
- ・大人への声かけは抑止力に。

「すぐに逃げる」ことを子ども達に教える

- ・大声を出してすぐに逃げることで、非常事態を気づいてもらえる。

不審者情報の共有

- ・「まもめーる」を多くの方に登録してもらい、地域での不審者の動きに注意してもらう。



コロナウイルス感染防止のため、無理のない範囲で
 ご協力をお願いします。